

意見交換会(平成28年5月24日(火)開催)における、市民から当日出された意見で執行部への回答を求めたもの

| | 範囲 | 内容 | 執行部の回答 |
|---|-------------|--|---|
| 1 | 連携中都市圏に関する事 | 連携中枢都市圏構想で、総務省から計画費用だけ予算がおりののか、以後継続的におりののか。 | 計画に要する費用にとどまらず、包括的に継続的な支援策として今後行っていく事業についても地方交付税による財政措置が講じられる。 |
| 2 | 連携中都市圏に関する事 | 今後、連携中枢都市圏ビジョンの見直しがあるのか。年次目標はあるのか。 | 本年3月に策定した「石川中央都市圏ビジョン」の進捗や効果の検証について、石川中央都市圏首長会議等を通じて、近隣市町と十分な協議を進めていくとともに、石川中央都市圏ビジョン懇談会での意見を反映した上で、毎年度ローリングを実施することとしている。 ローリングに係るスケジュールだが、来月に第1回ビジョン懇談会を開催する予定である。内容は、石川中央都市圏ビジョン策定の報告と今後の予定についてであり、公開で実施する予定である。来年1月には石川中央都市圏首長会議、2月には第2回ビジョン懇談会を開催して、年度末にはビジョン懇談会や首長会議での意見及び平成29年度予算案も反映させて、ローリングを行いたいと考えている。 |
| 3 | 連携中都市圏に関する事 | 連携中枢都市圏をうまく利用し、北陸鉄道石川線の乗客がふえて黒字の維持など、運営にプラスになることが可能か検討してほしい。 | 質問の趣旨は、北陸鉄道石川線の乗客が増加することで今後も運行が継続されるかどうかについてだと推察するが、石川線については重要な公共交通機関として沿線住民の方々の日常生活に必要不可欠な移動手段だと認識している。これまでも沿線住民の方々や他の市・町、交通事業者と連携した利用促進活動も実施しているところである。また、安全確保の観点から国、県、本市を初めとした3市1町が協調して老朽化した施設の整備のための支援も実施している。今後は連携中枢都市圏として、パーク・アンド・ライドの推進によるまちなかへのアクセス強化など都市圏レベルでの交通関係の向上を図ることで、石川線のより一層の利用促進につなげていきたい。 |